

明るく元気の出る町

広報

平成7年7月1日発行・毎月1日 編集・発行/秋田県東由利町役場企画課

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1995

07

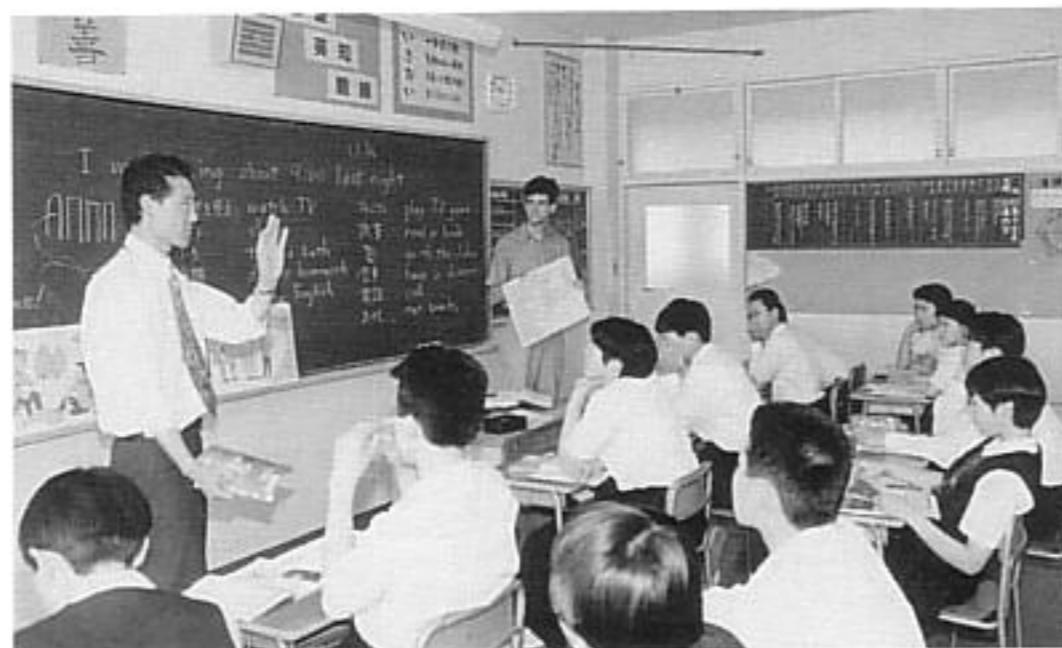
NO.484

かわいい子牛さんに“サデナデ”的子供たち
町畜共進会(6月13日)での一コマ

本町初の英語指導助手として平成五年七月二十八日に赴任したアレン・キッド先生。二年間の本町での生活を終え、七月にアメリカへ帰国します。先生はこの二年間、中学校を中心に三つの小学校、本荘高校下郷分校などで英語指導を行いました。特に中学校では、英語の授業を率先して行い、生の英語を教えるとともに子供たちから“兄貴”として親しまれています。

7月に アメリカへ 帰 国





▲猪股先生（写真・左）とアレン先生のペアの授業は子供たちに大人気

アレン キッド 先生

ユーモアたっぷり
楽しい会話

笑いがたえない英語の授業

の授業ではなく、英会話をふんだんに取り入れたもので、三年生になるとほとんどが英語で会話。ユーモアあふれる

生徒との会話を重視した授業のため、アレン先生が教壇に立ったクラスからは大きな笑い声が響いています。

「東由利中学校にアレン先生が赴任してから、子供たちが外国人に対して気持ちを開くようになりました。英語の聞き取り、話し方が確実に向かっています」と同校で英語を教えていた猪股正信先生。

同校では、英語の授業を担当する先生とアレン先生がペアで行っています。教科書中心

日本語が上手で、生徒の名前と顔がわかり、赴任当時からつき合っている三年生の場

外国人にも心を開く 英会話の能力向上

合は性格までも把握しているアレン先生は生徒の人気者。猪股先生は「彼とペアであれば生徒の英語力はさらに向上する。とても大きな収穫」と影

教科書だけではなく、生の英語を通して授業できる東由利中では、他校よりも恵まれた環境にあります。英語検定では、四級はもちろん、中学校では難しいとされてきた三級の合格者がいるなど、英語指導助手の効果が徐々に表れてきました。

▲東中のわたり廊下には英検の合格者がズラリ。これも「アレン効果」の1つ

佐々木宏明校長先生は「中学校程度の英会話をマスターすれば海外での生活が可能。英語指導助手の先生を有効に活用し、英語の討論会などができれば」と話しています。

せっかくのチャンス 有効な活用が課題に

響の大きさを強調しています。



3年A組
遠藤 良人くん

僕たちのこと 忘れないで



3年A組
畠山奈美子さん

彼女と 仲良くしてね



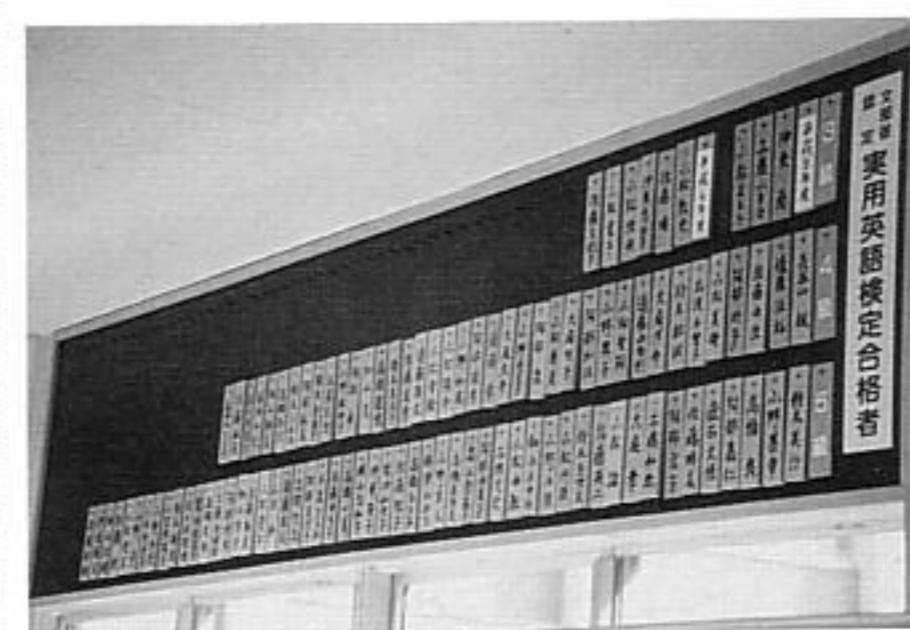
2年B組
小松 輝臣くん

手紙 ちようだいね



2年B組
小野 昭枝さん

いつまでも お元気で



▲東中のわたり廊下には英検の合格者がズラリ。これも「アレン効果」の1つ

アメリカの事をたくさん教えてくれて、ありがとうございました。とても楽しい思い出でいっぱいです。将来はアレン先生のところに遊びに行つてみたいな。いつまでもお元気で、頑張ってください。

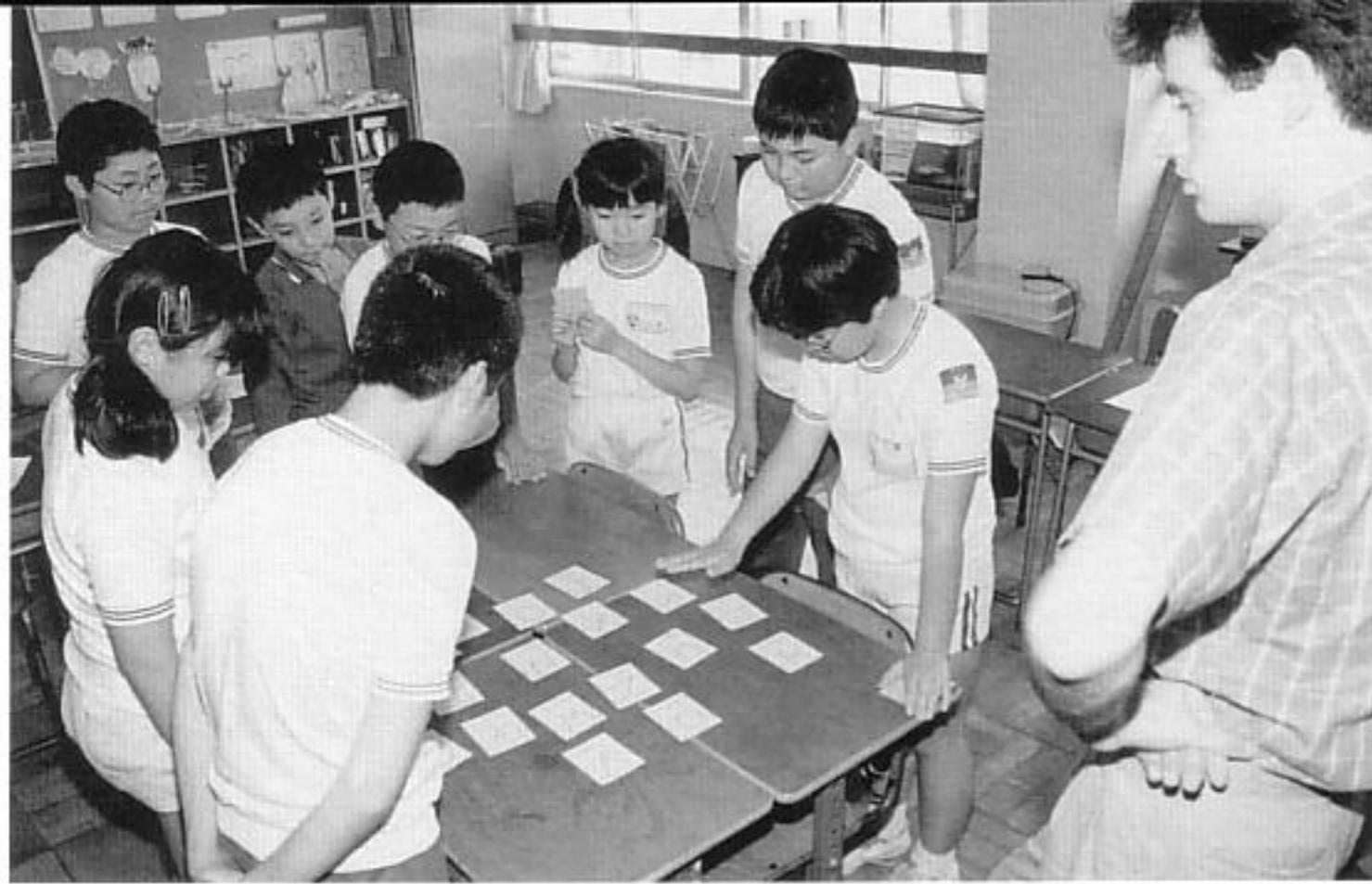
去年のクリスマスにアレン先生の家でパーティーをしたのがとてもよい思い出です。笑顔のアレン先生のことはいつも忘れません。アメリカに帰つても僕たちのこと、忘れないでください。

バスケットが上手なのが一番印象的。授業中は、プリントや英会話がとても参考になりました。ミネソタの話を聞くのがとても楽しかったです。アメリカに帰つても「彼女と仲良くしてね」。

休み時間に遊んだことが大きなか思い出。日本語が上手で話しやすい先生なのでとても仲良くすることができます。たまには日本に遊びに来てください。そして、手紙ちようだいね。僕も書くから。

アメリカの事をたくさん教えてくれて、ありがとうございました。とても楽しい思い出でいっぱいです。将来はアレン先生のところに遊びに行つてみたいな。いつまでもお元気で、頑張ってください。

文法よりも度胸が大事



▲大琴小の英語クラブでは“英語カルタ”をとり入れた

小学校には英語クラブが歌やゲームで交流深める

アレン先生の赴任により小学校でも英語に対する変化が見え始めました。

大琴小、高瀬小には英語クラブができ、八塩小では“ふれあい活動”の中でアメリカ

と日本の遊びを通して交流を深めています。「英語は中学から」の固定概念があり、小学校ではなかなか対応できなかつた分野でしたが、すんなり英語教育を取り入れることができたのもアレン先生の影響がありました。

町内の小学校でいち早く英語クラブを結成した大琴小では、あいさつ、ゲーム、歌などで英会話を勉強してきました。

英語で学校生活が充実



大琴小6年
木島 弘幸くん

英語クラブに入つて二年。英語であいさつができるようになり、学校生活がとても楽しくなつた。世界が広がつたような感じ。これをきっかけに英会話をマスターできるよう頑張りたい。

『まちがいはしようがない』

あいさつすると子供たちは「I'm fine(元気です)」、「I'm hungry(空腹です)」などと答えながらアレン先生と握手。ABCの歌やドレミの歌を英語で歌つたり、単語の頭文字を探す英語カルタで遊んだりしました。

「まちがいはしようがない」という気概で数多く話すことが大切。小学生は物覚えが早く、特に低学年は一回教えたことは次に会う時まできちんと覚えている。小さいころから英語で話せる環境を作れば、英語にもっと親しめるはず」と話しています。



▲下郷分校ではバレーで交流

対一般「英会話教室」も好評

高校では生徒にやる気

アレン先生が下郷分校を訪れるのは月、水曜日の週一回。英語の授業やスポーツでの交流を通して生徒たちと接していました。

高校の英語の授業には、平成六年度からオーラルコミュニケーションというカリキュラムが取り入れられました。これは、「読む」、「書く」とから「話す」、「聞く」ことを重

視した授業で、会話力を高めるために行われています。この中でアレン先生は、文字やテープでは分からぬ表情や表現などのいわゆる「雰囲気づくり」に大きな影響を与えています。

また、一般の方を対象にした「英会話教室」は、昨年五月十日に開講。十一月までの約六か月間、週一回のペースで行われました。年齢、職業、性別などはさまざまですが、約十人の参加者は日常会話を中心に楽しいひとときを過ごしました。

参加者からは「とても参考になつたし、楽しく勉強できつことがよい思い出になりました。アレン先生には感謝の気持ちでいっぱい」と好評を得ていました。



▲好評だった英会話教室

きれいな自然が
ミネソタと同じ

東中3年生の 10年後が楽しみ

アレン・キッド先生

アレン・キッド先生は一九七〇年ミネソタ州生まれ、ベニジオ州立大学で二年間学んだ後、一九九一年四月から一年



▲日本語がとても上手な
アレン先生

間、雄和町のミネソタ州立大学機構秋田校で日本文化を学びました。その後一回帰国したもの、日本の自然、温かい人情が忘れられず再来日、同校で勉強後、本町の英語指導助手として赴任しました。

「東由利は、自然が美しくミネソタと似ています。ここで生活は、楽しいことがいっぱいだった。子供たちはもちろん、たくさんの人と触れ合って、おいしい料理をいただきました」と上手な日本語で話すアレン先生。スポーツが大好きで、東中、下郷分校での部活動に顔を出したり、町の

スポーツ大会にも参加したりしました。そのほかに釣りが大好きで「アユ釣りは最高の思い出」とも話しています。最後に「一日、一日を大事に一生懸命過ごしてきました。足をケガしたこと也有ったが、バスケットボールはとても楽しかった。赴任当時からつき合っている東中三年生は、十年後どうなつていてるかとても楽しみ。そのころまた来てみようかな。ミネソタにくる機会があつたらぜひ知らせてほしい。大歓



▲東中3年生との思い出は数知れず

迎です」と本町での生活をふり返っていました。
なお、メセージは十九ページ、「アレン先生の英会話教室」に掲載しています。

8月からは
Glover Michelle
グローバー・ミッシェリーさん
着任

アレン先生の後任として八月から本町の英語指導助手として予定されているのは、ゲローバー・ミッシェリーさん。カナダ出身の女性で、短期大学で英語の教師をしている方です。英語のほかにフランス語も話すことができ、スキーエアロビクスなどのスポーツウェーマンと紹介されています。契約期間は一年間で、西山の教員住宅に住む予定となっています。

ありがとうアレン先生

町長 阿部 幸 悅

日記

町長 阿部 幸 悅

町議会から、わが町でも英語教育をより充実するために、ALTの導入を図るべきではないかと提案があったのが三年前。私は今の受験体制の中で、ALTの導入が必ずしもプラスに作用するとは思わなかつたし、かえって現場が混乱する可能性が大きいと考えていましたので、現場である教育委員会や先生方と相談した後に回答しようと、即答を避けたものでした。当時の野田口中学校長はたまたま英語

の先生であり、「どんなもんでしよう現場が混乱するのでありますか」と言いました。ださい私たちにも大変刺激になりますから」とおっしゃらえ、受け入れを決めたのでした。わが町では初めて「外人」が住む事ですからそれなりに気を使わねばと、担当職員もALSTを受け入れている町村に様子を聞いたりしたのでした。

この二年間、アレン先生は一生懸命役割を果たし、中学校の英語の先生の範囲を超えていろいろな刺激を与えてくれました。小学校、保育園、英会話教室にとまります。毎日、東光苑のクリスマスにはサンタさんになつてくれて、入所者の皆さんにとって感激したものです。

私たち東由利町に住む者は「外人」との接触の機会が少ないともあり、彼がこの町に住むことに色々心配しましたが、アレンさんの人柄もあって大変いい効果を与えてもらいました。私たちがもつ“ガイジン”というイメージが別ななものになりました。おお

多少の欲を言わしてもらえば、もう少し日本語が上達してもらいたかったが…。

6月 定例議会

初期の成育
平年なみ

「今年も豊作」願う

行政告行報



▲行政報告をする阿部町長

第四回議会定例会は六月十六日に招集され、阿部幸悦町長の行政報告、四氏の一般質問の後、町税条例の一部を改正する条例など四議案を原案どおり可決。陳情、請願などを委員会に付託しました。

十九日には委員会審議を行い、二十日、平成七年度一般会計補正予算など三議案を原案どおり可決し、閉会しました。

転作指標面積は

13・8 ha不足

稲の作付状況は、あきたこまちが八一四・六ha、ササニシキが一二三・一haで、この二品種で九三六・七haの作付となつており、全体の九六・一haを占めています。初期の生育は平年並ということであり、気象の変化が心配されるもののが「今年も豊作」を願うものであります。通常分の転作等目標面積一九四haに対しても達成率は一〇八・七haとなつています。一方、指標面積分

は一九haの目標面積に対しても達成面積は一五・二haとなつております。農家の方々への協力を呼びかけているところです。

六月の家畜市場は七〇頭が上場され、六四頭が成立。平均価格は二七八、九〇〇円と先月比一六、八七二円安となっています。

マツクイムシ 全町的に発生

昭和五七年象潟町で発見されたマツクイムシは、平成六年には県内二一市町村に蔓延、

本荘由利で発見されていないのは鳥海町と矢島町だけになりました。本町では、昨年九月までに八本を駆除、六月十二日現在、四六本の被害木が確認され、全町的に被害が拡散しています。関係機関と連絡を密にして、被害防止に取り組んでおりますので、発見した際は、ご一報くださいようお願いします。

株式会社黄桜の里 社員募集は7月上旬

活性化拠点施設の工事進捗状況（六月十三日現在）は、

産地形成施設本体工事が六二%、電気工事が一六%，機械工事が三七%，温泉施設本体工事が二八%，電気工事、機械工事が八%となっています。

本町が環境教育推進モデル町として文部省から指定されました。全国で八市町村のうちの一つで、総事業費は三〇〇万円。小、中学校の子供たちが環境問題を考えるよい機会になればと思っています。

平成六年度の町税は、調定額が四億一、四六〇万円で五月三十日で完納となりました。これで三〇年連続であります。納税貯蓄組合長はじめとする関係者に感謝申し上げます。

五月二十日に創立総会を行つた株式会社黄桜の里は、五人のスタッフで業務をはじめています。社員募集を七月上旬から八月上旬まで、八月中旬に選考を行い、九月一日採用の予定です。

7年度一般会計に
定例議会に上程された
七議案のうち、平成七年度一般会計補正予算は、一億四千九百九十六万五千円を追加し、総額を四十七億一千八百十九万五千円としたもの。主なものは▼農道整備費四千五百十一万一千円▼林道新設改良費一千八百五十二万円▼農業用施設災害復旧費五千百六十七万二千円などとなっています。

1億5千万円追加

7月、8月は選挙の月

参院選が7月23日

投票日

町長選は8月6日

一般質問

小松賢議員 ①企業誘致の考え方
②八塩いこいの森の将来構想は

町長 ①認識は同感である。
町単独ばかりではなく広域的
視点、他市町村との連携もと
りながら考えて行きたい。②平
成元年度の構想をもとに、昨
年度測量調査を行っている。
素案ができつつあるのでその
後協議したい。

小松慎一議員 ①新食糧法、
コメ自由化のもと、農政の基
本的考えは②ゴールドプラン
に基づく町保健福祉計画の見
通しは③地震への対策は万全
か④温泉等の施設の営業見通
しは⑤町内小売店を守る施策
は

町長 ①現実の農業を直視し、
国、県の支援も受けながらの
施策が大切。農業振興対策会
議の提言も受けながら農業振
興を図っていきたい。②平成十
二年までの町の計画はハード、
ソフト両面でおおむね順調。
老後に不安のないよう施策を

充実していきたい③地域防災
計画に地震対策を加え見直し
を行っている④来客者に満足
してもらえるようサービス部
門の充実に努力して行きたい
と今後の対策は⑤認定農業者
以外の農業者への対応は

遠藤忠平議員 ①転作の現状
と今後の対策は②認定農業者
以外の農業者への対応は
町長 ①指標面積が一三・八
㌶未消化。農家へさらなる協
力をお願いしたい②決して認
定農業者以外の農家をダメと
したものではない。核となる
農家を育てることが町全体の
農業振興につながると考
る

佐藤萬一議員 ①県の農業農
村対策大綱を受け、本町の取
り組みは②農業後継者対策を
どうする③観光開発基本構想
の策定を④観光資源が乏しい
本町での資源開発の考えは⑤
小田地区の水害防止策は

町長 ①基本構想、整備計画
を策定しており、認定農業者
を中心に将来を見据えた施策
を展開したい②農業を魅力あ
る職業として位置づけること
が大切③八塩いこいの森の整
備計画と連動して計画した
④わが町なりの観光資源を十
分活用し、人材育成も含めて
考えている⑤基本的に河川
改修

小田地区の水害防止策は
町長 ①基本構想、整備計画
を策定しており、認定農業者
を中心に将来を見据えた施策
を展開したい②農業を魅力あ
る職業として位置づけること
が大切③八塩いこいの森の整
備計画と連動して計画した
④わが町なりの観光資源を十
分活用し、人材育成も含めて
考えている⑤基本的に河川
改修



▲東光苑では6月14日に避難訓練

不在者投票は 投票日の前日まで

投票日当日、やむを得ない
用事のため投票所へ行けない
人は町選挙管理委員会（役場
内）で「不在者投票」を行う
ことができます。不在者投票
ができる期間は、告（公）示
日から投票日の前日までで、
時間は午前八時二十分から午

投票所で 投票時間を繰り上げ

投票日の投票時間は午前七
時から午後六時まで。ただし、
袖山、松柴、高村、祝沢、黒
沢、杉森の六投票所は、時間
が繰り上げられ午後五時で閉
じられます。

参院選 「比例代表」には 政党名を

参議院議員選挙は、秋田県
選手議員選挙と参議院比例代
表選出議員選挙が行われ、投
票用紙が一枚配られます。

秋田県選出議員選挙の投
票用紙（うす黄色の紙に黒
刷り）には候補者名を、比
例代表選出議員選挙の投
票用紙（白色の紙に赤刷り）に
は、政党名を記入することに
なります。



▲前回の町長選挙投票風景

投票日当日、やむを得ない
用事のため投票所へ行けない
人は町選挙管理委員会（役場
内）で「不在者投票」を行う
ことができます。不在者投票
ができる期間は、告（公）示
日から投票日の前日までで、
時間は午前八時二十分から午

投票用紙が届き次
第所在地の選管で

合併4周年記念

700人を魅了



▲民謡界の大スター
浅野和子さん（大台出身）



▲舞台いっぱいを使ったわらび座の迫力ある演技



▲民謡界若手のホープ
浅野竹美さん（下通出身）



▲会場内は満員



▲わらび座の演技は豊かな表情が特徴



▲いつもは恐い「なまはげ」も竹美さんとの共演に上きげん

“よろこび”を実感、迫力に感動

わらび座、梅若会社中ジョイント公演

合併四十周年を記念した、わらび座、梅若会社中ジョイント公演が六月四日、健康増進センターで行われ、町民七百人が鑑賞しました。

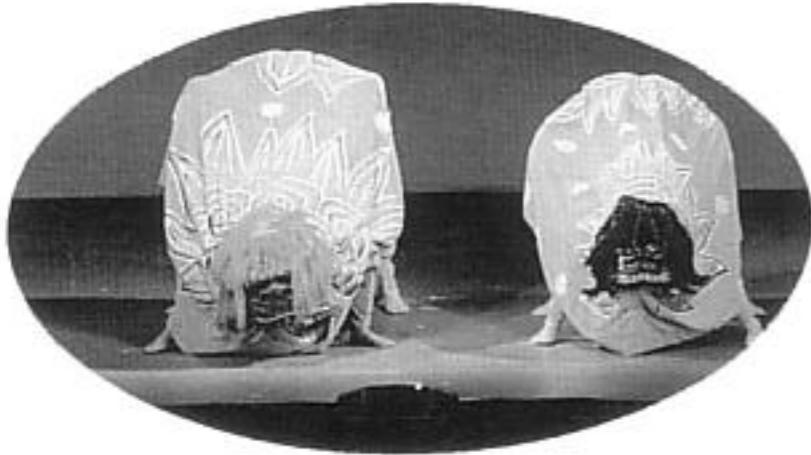
公演は、第一部がわらび座ステージ、第二部が梅若会社中ステージ、第三部がジョイント

ント公演の三部構成で行われ、本町出身の浅野和子さん、竹美さんをはじめとする梅若会の民謡、秋田を代表する劇団わらび座の踊りや太鼓が披露されました。

当日は、開場一時間前の十二時には会場前に約二百人が並ぶ盛況ぶりで、開場が三十分早められました。開場後十分過ぎにはほぼ満員になるな

ど、町民の関心の高さがうかがわれました。

参観者からは「心に響く舞台を見ているうちに働く意欲がわいてきた。これが本当の“よろこび”、「歌や踊り、太鼓の迫力がすごい。見に来てよかったです」、「本町出身の民謡歌手の歌が聞けて良かつた。とても感動した」など、喜びの声が聞こえていました。



▲わらび座の親子獅子（写真・上）、お面をとつたら4人のいい男が登場（写真・下）



▲最後に出演者が全員集合、再会を誓った

まだまだ元気いっぱい

長寿祝金贈呈者（敬称略）

大 琴	阿 部 喜代藏	97歳
館合新田	畠 山 アキヨ	96歳
大 吹 川	佐 藤 千代作	95歳
蔵	小 松 周 助	95歳
石 高	小 松 ハルヨ	94歳
宇 戸 坂	高 橋 タケヨ	94歳
蔵	大 沼 タケミ	94歳
高 戸 屋	小 松 慶治郎	93歳
須 郷	高 橋 タケヨ	93歳
大 琴	梅 津 千代松	93歳
寺 田	高 橋 春 松	93歳
田 代	佐 藤 ア キ	92歳
黒 別	佐 藤 アサノ	92歳
岩 館	伊 東 潔	92歳
下 通	福 田 米 造	91歳
岩 館	石 渡 ミオノ	91歳
館合新田	小 野 キクヨ	91歳
田 代	渡 辺 哲治郎	91歳
小 倉	遠 藤 イト	91歳
横 渡	阿 部 マサノ	91歳
久 保	大 場 ハツエ	91歳
野 田	遠 藤 チヨノ	91歳
田 代	渡 辺 ミサコ	90歳
藏 新田	阿 部 チヨノ	90歳
島	千 葉 覚太郎	90歳
館合新田	小 野 トクノ	90歳
八 日 町	嶽 石 キクヨ	90歳
館合新田	長 谷 山 長四郎	90歳

敬老会



▲歌や踊りが披露されると笑顔で拍手。写真上は元気で敬老会に出席した阿部喜代藏さん

922人をご招待

健康で長生きしてね・・・

歌や踊りに明るい笑顔

平成七年度の敬老会が六月二十一日（高瀬小学校区）、二十二日（八塩同）、二十三日（大琴同）の三日間有鄰館で行われました。今年は七十歳以上のお年寄り九百二十二人をご招待し、このうち四百四十一人が元気に出席しました。

敬老会では、阿部幸悦町長が「今年は、町活性化の拠点となる施設、温泉と食事施設が十一月にオープンする。町も大きく変化し始めている年であり、皆さんがあなたが築き上げて来た実績をわれわれ現役が後継者へ確実に引き継いでいくためにも頑張りあえる年にしたい」とあいさつしました。

その後、九十歳以上の二千八人に長寿祝い金、米寿（満八十七歳）を迎えた二十人に敬老祝い金、八十歳を迎えた四十六人に肖像写真と座布団が贈られました。



▲館合地区の婦人会は自慢の踊りでお祝い

その後の懇親会では、民謡同好会が自慢の歌や踊りを披露、会場からは大きな拍手がわき上がっていました。

町一番の長寿者は女性では今年九十六歳を迎える館合新田の畠山アキヨさん、男性では今年九十七歳を迎えた大琴の阿部喜代藏さんです。ますます元気で町の長寿記録を延ばしてほしいものです。



優良牛が多数出陳され、審査が難行

第4回東日本和牛能力共進会予選兼

第40回町畜産共進会

地元産の“優良牛”勢ぞろい

第四十回町畜産共進会が六月十三日、畜産広場で開催され、黒毛和種四十八頭、ホルスタイン種四頭の計五十二頭が出陳されました。今回は、

九月一~四日に河辺町の県中央家畜市場で行われる第四回東日本和牛能力共進会の予選を兼ねた大会となりました。

開会式で町畜産共進会運営委員会長の阿部幸悦町長が

「あきたこまちと由利牛の里」をスローガンにし、全県一の黒毛和種繁殖頭数を誇る本町にとって、牛肉の自由化、就

農家の一層の頑張りを期待したい」と出陳者を激励しました。引き続き黒毛和種八部門、ホルスタイン種二部門で審査が行われ、優等賞（別掲載）、一等賞、二等賞、三等賞を選定しました。特に育成区、成牛一区では、一次、二次と審査が進むにつれ時間が長くなり、「甲乙つけがたい」と審査員を悩ませていました。

また、昼食時には、株式会社「黄桜の里」の牛肉のたたきとしゃぶしゃぶ三百パック、恒例の牛肉の焼き肉、牛乳が無料で提供され、大にぎわいとなっていました。

JJA東由利、由利農業共済組合などの関係団体が一体となって支援する考え方であり、畜産

業構造の変化など、今が踏ん張りどころ。町、



▲牛肉のたたきとしゃぶしゃぶは人気のマト

これが今年の優等牛だ

(出陳者敬称略)

《黒毛和種・育成区》

さくらひめ（館合新田・高橋重四郎）

《同・若牛区》

ふくひめ6（土場沢・畠山藤作）

《同・成牛1区》

いとひめ（新沢・嶽石勝男）

《同・成牛2区》

やすみくいん（新処・遠藤熊雄）

《同・成牛3区》

まさこ（宿・小野長兵衛）

《同・繁殖雌牛群区（個人出陳）》

さとかね、わかひめ、さとざくら（蘿沢・佐藤宗市）

《同・同（組合出陳）》

やよい14、つばさ、たかこ（久山和牛改良研究会・小松良徳、大場惣七、菊地義一）

《同・高等登録群区》

ささます、やえざくら、きざくら（須郷・武田秀夫）

《ホルスタイン種・未経産の部》

スリーファーム ハーキューズ プリンセス
(下吹・小野勲一)

《同・経産の部》

フィーンランド エルクカーデスチニイ（舟木・大庭喜一郎）

《団体賞》

▼肉用牛①館合和牛改良組合②久山和牛改良研究会③高森和牛改良組合

▼乳用牛①宿地区



▲真剣な表情で資料に目をとおす出席者

認定農業者協議会設立

会長に畠山吉基氏

認定農業者相互の情報交換と連絡協調を図ろうと六月二十一日、認定農業者協議会が設立され、会長に畠山吉基氏が就任しました。

町では、農業経営基盤強化促進法に基づく平成六年度認定農業者に、五十六人を認定。四月十二日には、認定証交付式が行われ、認定農業者制度の実質的なスタートが切られました。

認定農業者は、他産業並の労働時間で他産業並の所得を実現できる経営を目指すとともに、個人経営の確立はもと

より、地域農業をけん引する役割が求められています。このため、認定農業者の意見が広く町の農業振興に反映できるようになると六月九日には、認定農業者発会世話人会が開かれ、同協議会設立に向け準備が進められてきました。

老方館で行われた設立総会には、認定農業者二十八人が出席。会長、副会長、地区委員、監事を選任した後、会員相互の情報交換や研修を行うなどとした事業計画、予算案などが満場一致で可決されました。

「協議会の設立は町にとつて重要な事。認定農業者の方々には、地域農業の核となつて頑張っていただきたい」とあいさつ。

その後、大森町活性化センター次長の吉尾信雄氏が「元気のでる農業をめざせ」と題して講演。この中で吉尾次長は「東由利を良くしたい気持ちがあるなら、自ら燃えて、正直に生きること。そして前向きにものを考えることが大切。『町の中心となる農業者』の氣概で明るく元気の出る農村を築いてほしい」と参加者を激励しました。



▲6月21日に開かれた設立総会

引き続き阿部幸悦町長が持管理方法は、「使用料はどの程度になるのか」などの質問が出されました。これに対して町では「維持管理は原則として『利用組合』を作つて対応してほしい。使用料はおむね水道料金程度」などと答えました。

説明会では、最初に町建設課の担当者が「汚水処理施設と管路等、公共的に利用される部分は町が工事し、受益者負担はなし。下水道を利用するための宅地改造費などは農林漁業金融公庫などの低利資金で対応できる」などの概要を説明。

同地区は、処理面積が七十
町では、下水道整備構想案に基づき検討を重ね、農林水産省の農業集落排水施設整備事業をメインに実施することとし、老方・館合地区の事業化に向けて準備を進めてきました。

「山紫水明の里」の屋台骨をになう下水道整備事業の説明会が六月十二日の新町、横小路、上通地区を皮切りに全町で行われています。

四ヶ所、世帯数が五百十八戸、処理人口が一千三百十一人と、町内では最大の処理区となります。来年十月に本管布設工事に着工、平成十年に一部供用開始、十三年の完成を目指しています。概算の事業費が三十五億一千四百万円で、財源は、国、県の補助金や地方債が九割以上を占めています。

今年度予算では、同地区的事業説明会と並行して測量調査が計上されており、

出席者からは「完成後の維持

阪神・淡路大震災への支援に対し、笛山幸俊神戸市長から「温かいご支援ありがとうございます。神戸が今まで以上に魅力ある都市としてよみがえるよう努力していく」としたお礼のメッセージが届けられました。

まるごと360度
フォトコンテスト

はい、
役場です



▶最優秀作品に輝いた加賀谷さんの「五月晴」

合併四十周年記念事業「東由利まるごと360度フォトコンテスト」の審査会が六月十五日、有鄰館で行われ、一枚写真部門最優秀賞に横手市在住の加賀谷良助さんの「五月晴」が選ばされました。

同コンテストには、一枚写真部門に五人から九点、組写真部門に五人から九点の応募がありました。

審査会は、秋田魁新報社報道本部長兼写真部長の

青崎輝雄氏、大曲市在住の写真家、大野源二郎氏を審査員に委嘱して行われました。

一枚写真部門は、六十四点の中から一次審査で十一点を選抜。①

明るく元気の出る町を実感できる②山紫水明の里が感じられる③写真技術が優れている一などの観点から最優秀賞一点、優秀賞二点、入選五点を選定しました。

一方、組写真部門は、九点の中から優秀賞一点、入選一

点を選定しました。

審査委員長を務めた秋田魁新報社の青崎氏は「結果として人物が被写体となつた作品が少ないので残念だったが、

回を重ねれば浸透するはず。町民が“ありふれた風景”となり、その再発見が町を見直す

契機にもなるのでは」と講評しました。

最優秀賞以外の方は次のとおりです。(敬称略)

【一枚写真部門】《優秀賞》田植えどき、田中秀雄(本荘市)、安彦融(秋田市)、須郷田神楽

【組写真部門】《優秀賞》安彦融(秋田市)、初瀬武美(秋田市)、黄桜の里

最優秀賞に加賀谷さん(横手市)の「五月晴」



町功労者(元教育委員長)

佐藤松之助氏が逝去

町功労者で元教育委員長の

佐藤松之助氏が、病氣療養中のところ六月二十日逝去されました。八十七歳。

氏は、昭和十七年、旧玉米村玉米国民学校教頭として奉職、蔵小学校長、玉米中学校長を歴任されました。退職後

町民海外研修 女性を中心に選考



今年の町民海外研修は、十月二十日から十日間の日程で、オーストリア、ドイツ、フランスの三か国を訪問することとし、参加者の募集を開始しました。締め切りは八月三日。町内に住んでいる二十歳以上、

五十歳未満の方が対象で、定員は七名。女性を優先的に選考するものの、定員に満たない場合は男性も対象となります。詳しくは町教育委員会(☎69-2311)まで。

力走(入選)▼勝田春雄(横手市)、朝もやの遺跡▼本間公淳(横手市)、春らんまん▼工藤純(象潟町)、春爛漫▼初瀬武美(秋田市)、里の冬景▼安彦融(秋田市)、ひ孫といっしょ

彦融(秋田市)、須郷田神楽(入選)、初瀬武美(秋田市)、

黄桜の里、残雪模様▼安彦融(秋田市)、

佐藤松之助(横手市)、黒川義重(横手市)、朝もやの遺跡▼本間公淳(横手市)、春らんまん▼工藤純(象潟町)、春爛漫▼初瀬武美(秋田市)、里の冬景▼安彦融(秋田市)、ひ孫といっしょ

彦融(秋田市)、須郷田神楽(入選)、初瀬武美(秋田市)、

黄桜の里、残雪模様▼安彦融(秋田市)、

佐藤松之助(横手市)、黒川義重(横手市)、朝もやの遺跡▼本間公淳(横手市)、春らんまん▼工藤純(象潟町)、春爛漫▼初瀬武美(秋田市)、里の冬景▼安彦融(秋田市)、ひ孫といっしょ



株会

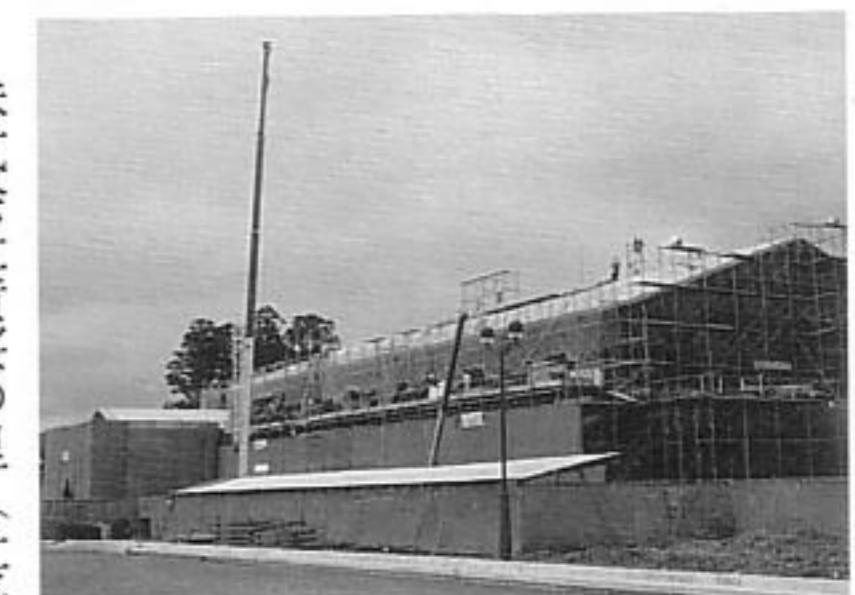
黄櫻の里

お食事処
やしお



▲社長の阿部幸悦町長を中心に“仮事務所”の看板を取りつけるスタッフ

支配人に佐藤正剛氏 業務活動を開始



▲施設工事は順調に推移

町長は「本町初の第三セクター」
阿部幸悦町長

（社長・
阿部幸悦町長）は六月一日、
総務、営業などスタッフ四人

に辞令を交付、旧矢島信金事務所に「仮事務所」を設置し、
本格的業務活動を開始しました。

同社は、本町初の第三セクタ
ーの会社として五月二十日
の創立総会を経て設立、現場
の実質的責任者となる支配人

9日には料理コンテスト

町と株式会社黄櫻の里では、
お食事処「やしお」のメニュー

に家庭料理を加えようと七月
九日、有鄰館で料理コンテスト
トを実施します。

募集する料理は、普段食べ
ている料理、特別なときの料
理、デザート、菓子、お茶う

けなど自由。応募できる人は
町内在住の方に限られ、締め
切りは五日。

採用された料理は、「やしお」
のメニュー中に加えられ、
採用された方の名前入りで紹
介されることになっています。

申し込みや問い合わせは、
株式会社黄櫻の里（☎ 69-2
611）か役場企画課拠点施
設係（☎ 69-12114）まで。

に佐藤正剛氏が就任しました。
総務課、第一営業課、第二営
業課、調理課があり、町内外
へのPR、食事のメニューや
施設内の備品の検討など十一
月オープンに向けて、準備が
進められています。

辞令交付式で、社長の阿部
町長は「本町初の第三セクター」
阿部幸悦町長

ということもあり町民も大き
な期待を寄せている。精一杯
頑張ってください」と激励し
ました。

一方、「湯楽里」と「やしお」の建設工事は、九月完成
に向け順調に工事が進められ
ています。

メシとガツコは食べ放題に

支配人・佐藤正剛氏にスポット



支配人に就任した佐藤正剛さんは、県内外のホテルで主に飲食関係を担当し、この道二十年のベテラン。

「就任の要請があつたときいろいろ迷つたが、町の熱心さや人情、そして町の将来の活性化のために、この施設が拠点になるなど明るい展望があるので、微力ながらお手伝いしたいと決心した」と話す佐藤さん。

町初の第三セクターとい
うこともあり、地域と会社
とのつながりが施設運営の大
きなカギと言われています。

婦人部の漬物は食べ放題に
したい。町内の食材の有効
利用を考え、宴会料理や定
食などに生かして行きたい

のドライバーなどにどう売
り込めるかを検討したい。
近い将来は欲しいが、ま
ずは経営を軌道に乗せること

と意欲を見せていま
す。

秋田市から毎日
通勤している佐藤

と具体的な考えを披露。ま
つけたのは、おいしいあき
たこまちと漬物。「町特産の

あきたこまちやJA東由利
通過団体客やトラックなど

本荘～秋田空港間
バス利用を

羽後交通株式会社では、昨
年四月から本荘～秋田空港間
のバスを毎日運行しています。
バスは、本荘発が六時五十五分
と一七時五〇分、秋田空港発
が八時三〇分と一九時二〇分
の二本で、料金は片道一、三
二〇円。同社では「より一層
の利用を」と呼びかけていま
す。

応急手当を体験

消防分署が講習会

4種目にさわやかな汗

ことぶき大学運動会

電気設備を無料点検

独居老人宅を東北電力



▲人形を使った応急手當に参加者の表情も真剣



▲満杯リレーは接戦

東由利
トピックス

本荘地区組合消防署東由利分署は五月二十六日、ケガ人の応急手当の方法などを学ぶ普通救命講習会を朋楽荘で行いました。

講習会には、町内の保育園や東光苑などの事業所や一般の方二十二人が参加しました。

「あなたにもできる救急車がくるまでの応急手当」が大きなテーマで、分署職員の基礎的な説明の後、参加者らは人形を使って実際に手当を体験。人工呼吸や心臓マッサージの方法などを学習し、全員に修了証が交付されました。

分署では七月十一日に二回目の講習会を予定しており、「もしもの時に役立つよう一人でも多く参加してほしい」と話しています。

満杯リレーは、一升瓶をいっぱいにする早さを競うもので、バケツから湯呑み茶碗に水をくみ取り、早足でリレー。茶碗の水が走っているうちに大半こぼれたり、一升瓶にうまく注ぎ込めなかつたりハプニングの連続。参加者からは盛大な声援が送られていました。

第十六回ことぶき大学運動会が六月六日、町民グラウンドで行われ、約三百人が参加しました。

当日は、あいにくの曇り空にもかかわらず、関所やぶり、ボール送り、満杯リレー、ゲートボールの四種目で熱戦が繰り広げられました。

上川大内サービスセンターと共同で行われたこの事業には、十四人の「電気屋さん」が参加、社会福祉協議会のヘルパーの案内で四班に別れて行われました。

「電気屋さん」は、家に到着すると電気が正常に流れているかをチェック、蛍光灯や電球の清掃などを行いました。

点検を受けた人たちには「電気は難しくてなかなか点検できない。『問題ないよ』と言われば『安心』と笑顔で話していました。



▲人形を使った応急手當に参加者の表情も真剣

各種目の優勝は次のとおり。
▽関所やぶり▽宿糞葉会▽ボーリング送り▽館合第三寿会▽満杯リレー▽同▽ゲートボール▽田代福寿会



▲親切な「電気屋さん」にありがとうございます



阿部由美子さん

由美子さん県大会で健闘 全県卓球大会でベスト16に

同大会には、都市大会上位入賞の六十八人が参加。由美子さんは、二、三回戦を一一で勝ち上がり、四回戦で大潟中の斎藤選手と対戦。ハイレベルの試合を展開したものの〇一二で惜敗しました。

第三十六回秋田県春季中学校卓球大会が六月三、四日の二日間、大潟村民体育館で行われ、東中の阿部由美子さん（三年）がベスト16に入る健闘を見せました。

県大会に出場した由美子さんは「玉に回転を加えるカットマンが多く、しかもレベルの高い選手が多かった。とても貴重な体験」と話していました。

電気設備を点検し、安全で快適な生活をしてもらおうと東北電力東由利サービスセンターが六月七日、一人暮らし世帯六十五戸の点検をボランティアで行いました。

上川大内サービスセンターと共同で行われたこの事業には、十四人の「電気屋さん」が参加、社会福祉協議会のヘルパーの案内で四班に別れて行われました。

「電気屋さん」は、家に到着すると電気が正常に流れているかをチェック、蛍光灯や電球の清掃などを行いました。

点検を受けた人たちには「電気は難しくてなかなか点検できない。『問題ないよ』と言われば『安心』と笑顔で話していました。

「電気屋さん」は、家に到着すると電気が正常に流れているかをチェック、蛍光灯や電球の清掃などを行いました。

点検を受けた人たちには「電気は難しくてなかなか点検できない。『問題ないよ』と言われば『安心』と笑顔で話していました。

上川大内サービスセンターと共同で行われたこの事業には、十四人の「電気屋さん」が参加、社会福祉協議会のヘルパーの案内で四班に別れて行われました。

電気設備を点検し、安全で快適な生活をしてもらおうと東北電力東由利サービスセンターが六月七日、一人暮らし世帯六十五戸の点検をボランティアで行いました。

上川大内サービスセンターと共同で行われたこの事業には、十四人の「電気屋さん」が参加、社会福祉協議会のヘルパーの案内で四班に別れて行われました。

電気設備を点検し、安全で快適な生活をしてもらおうと東北電力東由利サービスセンターが六月七日、一人暮らし世帯六十五戸の点検をボランティアで行いました。

思い思に楽しむ

八塩ふれあい登山



▲新緑の登山は最高

第十七回八塩登山が五月二十八日に行われ、町外十九人を含む七十人が参加しました。同山は、一時間あればゆつくり頂上まで登れるとあって、年齢を問わず気軽に登山できる初心者向けの山として知られ、町外からも好評を得ています。

当日は、風びらコースを登り、ブナの巨木や山野草を観察しながら頂上へ。頂上では昼食を食べたり、タケノコ採りしたり、思い思に過ごしました。下りは急な坂道が続く鳥居長根コース。足元に注意しながら全員そろって下山しました。参加者からは「登山道が整備されて登りやすい。来年も参加したい」と大好評でした。

表彰式は、五月二十九日の第三十八回県体育指導委員研究大会（会場・鹿角市）の席上で行われました。



▲スピードで他を圧倒した本町消防団

今回表彰された一人は、昭和六十年から同委員を努め、中核的な存在として活躍しています。

表彰式は、五月二十九日の第三十八回県体育指導委員研究大会（会場・鹿角市）の席上で行われました。

小松さんと阿部さん

県体指功労賞を受賞



▲阿部さん（写真・左）と小松さん（写真・右）

この大会は梅雨の時期に備えて毎年行われているもので、市郡内から九チームが参加。町体育指導委員の小松良徳さん（山崎）と阿部和仁さん（岩館）が、「地域のスポーツ振興に貢献した」として体育指導委員功労賞を受賞しました。

「シート張り工」「木流し工」「川倉工」「積土のう工」の四種目でスピードと技術を競う鳥居長根コース。足元に注意しながら全員そろって下山しました。参加者からは「登山道が整備されて登りやすい。来年も参加したい」と大好評でした。

本町からは部長以上の幹部二十五人が参加、このうち石綿喜代隆第五分団長を指揮者とする十一人の選手がスピードで他のチームを圧倒、機敏な動作で作業を展開し好成績を収めたものです。

大琴自治会（石綿民憲会長）の第十五回さなぶりスポーツ祭が六月四日に行われ、自治会内のほとんどの世帯から約二百人が参加しました。

スポーツ祭は、田植え後の



▲子供たちが大勢参加した早飲み競争

郡市水防大会で第一位

本町消防団が5年ぶり

大琴自治会スポーツ祭

会場内は和氣あいあい

（3位以内、敬称略）

《小学校・男子》

▼五年百メートル走第二位＝嶽石弘喜（八塩小）▼同一百メートル走第二位＝長谷山洋一（同）▼六年二百メートル走第二位＝佐藤真二

（大琴小）

《中学校・男子》

▼三種B第一位＝畠山晃▼三年百メートル走第二位＝佐藤陽▼低

学年四百メートルリレー第一位＝長

谷山哲也、小野信弘、鈴木祐介、伊東務

《同・女子》

▼三年八百メートル走第三位＝畠山裕美

郡市陸上競技大会結果

HIGASHIYURI
東由利の話題
TOPICS

町の宝もの

39

「墾田良地居士」碑（大琴）

黒沢川上流右岸から取水し、途中二五メートルほどのトンネル（穴堰）など、屈曲迂回した約三七段の用水路で、これによつて十石ほど開田されました。

言い伝えによれば、江戸末期に横渡の太田与五衛門が先になつて工事したといわれ、大変な難工事でたいまつで高低を確かめたといわれています。

（文・畠山昭二）



大琴小学校南端の旧校門近くに建つ墾田良地居士碑は、高さ約一・六メートル、ほぼ真四角の風格ある碑です。碑面に慶応（一八六五年六八）に建立（願主）した方々と思われる名が刻まれていますが、地の一字などが判読困難になつています。碑は大琴小学校付近の水路「上ノ台堰」開削の功績をたたえ、地区の人たちが建立したものです。

業り 林だよ 緑の大敵松くい虫

国道107号を走ると本荘市小友地内で赤く枯れた松が散見されるようになりました。これが松くい虫と呼ばれるマツノザイセンチュウという線虫（体長十ミリ位）による萎ちょう病です。この松くい虫は、本荘由利地域では、矢島町、鳥海町を除く全市町に発生しており、昨年には本町でも発見されました。

松の枯れる原因は、マツノマダラカ

ミキリという昆虫（体長二五ミリ）が、枯れた松から七月頃に線虫を抱えて羽化脱出し、健全な木の小枝を食べ、その時に線虫が傷口から材内へ入つて繁殖し、材内の組織を破壊して水分や栄養の流れが悪くなり松が枯れてしまします。この枯れた松から線虫が健全な松へと伝播して松枯れが拡大していくのです。この被害防止には、伐倒焼却と薬剤散布があります。被害の早期発見と早期駆除が大切なので、発見したら役場に通報してください。

（町林業懇話会長 佐藤 恒悦）

自分で守ろう 歯と歯ぐき

「子供の歯は何本でしよう」から始まって、十問。三択のタカラセデンタルクイズ。委員会の子供たちが本を見ながら知恵をしほる。スライド操作がおもしろくて、カッコつけてすわっています。子供。大きな歯ブラシを手に、みがき方を教える子供。これは、むし歯予防集会での一コマ。少し恥ずかしがりながらもやりとげた満足感。結果として、大したことなく、反省がいっぱいあつても子供たちは感激。

一生つき合う大事な歯。頑張った委員会の子供たちは、何かしら身についたと思うが、全校の子供たちはどうだったでし

一生つき合う大事な歯。頑張った委員会の子供たちは、何かしら身についたと思うが、全校の子供たちはどうだったでしょ。また、同日に、小松歯科医院の歯科衛生士さんと町の保健婦さんのご協力で五年生に歯みがき指導をしていただき効果抜群。本当にありがとうございます。町からいただいた歯ブラシで子供たちは毎日みがいています。

の

けんこう

3歳児健診



の
けんこう

2歳児健診



の
けんこう

**虫歯 なんて
ないもーん。**

◆小松 慧斗くん
(下通・敏貴さん長男)



◆芹田 誠暎くん
(新町・享さん長男)



◆長谷山峻之くん
(湯出野・和幸さん長男)



◆小松 由実ちゃん
(大台・仁さん二女)



◆斎藤 慎平くん
(石高・眞一さん長男)



◆小松奈央実ちゃん
(新町・与悦さん三女)



◆小野 倫太くん
(館合新田・長清さん二男)



◆畠山 由妃ちゃん
(上通・守さん二女)



◆小松奈央実ちゃん
(新町・与悦さん三女)

ようか。給食後のはみがきの時に「歯のすき間もきちんとみがいたよ」と教えてくれる子供に、ついニコッとしてしまう。

知識として覚えたことを行動に移せた時に効果が上がるもの。この行動が習慣化し、生涯健康な生活ができるようになればと思う。

また、同日に、小松歯科医院の歯科衛生士さんと町の保健婦さんのご協力で五年生に歯みがき指導をしていただき効果抜群。本当にありがとうございます。町からいただいた歯ブラシで子供たちは毎日みがいています。

恵まれた環境にある子供たち。「ハーバード運動」の実践者になることを願っています。

（高瀬小・打矢博子先生）

第31回本荘由利地区身体障害者体育大会

精一杯のプレーに感動

観客からは励ましの拍手

第三十一回本荘由利地区身体障害者体育大会が六月十四日、町民グラウンドで行われ、管内市町と三つの福祉施設から四百六十九人の選手を含む関係者約七百人が参加しました。

本荘市と郡内各町が持ち回りで行われているこの大会は、身体障害者の社会参加を図ろうと行われているもので県内では唯一の地方大会。精一杯のプレーが数々の感動を与えてきました。

当日は、県警音楽隊も応援に駆けつけ、選手たちは大張り切り。観客からは励ましの声援や大きな拍手が送られていました。



▲車いすで力走する参加者



▲本町蔵新田の遠藤直さんが力強く選手宣誓



▲県警音楽隊の華麗なアトラクション

開会式では手話がとり入れられた

いきいき、クローズアップ

高瀬小2年連続県大会へ

郡市野球大会で準優勝

第二十二回本荘市由利郡野球大会が六月十一日、十七、十八日の三日間、市郡内の五会場で行われ、本町の高瀬小が準優勝に輝き、昨年に引き続き県大会出場権を獲得しました。

前年度優勝校として大会に臨んだ高瀬小は、一回戦、優勝候補の北内越小を六対四、二回戦、上浜小を六対五の接戦で下し、準々決勝の亀田小戦では十二対五のコールドゲームで勝ち上がりました。

準決勝は強豪尾崎小と対戦。点の取

後送りバント、相手の三塁への送球が大きくそれる間にランナーが一気にホームイン、サヨナラ勝ちを收めました。

決勝戦は金浦小と対戦。終始高瀬小ペースで試合が進められましたが最終回に逆転され、九対五で惜敗。敗れはしたものの会場からは大きな拍手が送られていました。

監督の今村聰先生は「接戦続きでハラハラドキドキの連続。子供たちの頑張りはもちろんだが、親の会の援助に感謝したい」と話しています。また主将の遠藤洋君は「前年度優勝校というプレッシャーもなく伸び伸びと試合することができます。県大会での目標は一回戦突破」と意欲を見せています。

県大会は、七月一日から、天王町の長沼球場を主会場に行われ、高瀬小は開会式直後の第一試合（三時三十分試合開始、湖岸球場）で、秋田代表の八橋小と対戦することになっています。



▲2年連続で県大会出場を決めた高瀬小ナイン



▲左から八柳校長、今村監督、遠藤主将、長沼副主将（役場に準優勝の報告）

り合いとなり、七回裏、四球で出たランナーがボーグで二塁に進みその



「かくれんぼをしたり、おもちゃで遊んだり、いつも仲良くしています。いつしょにお風呂に入ったりしてるんだよ」と、保育園に行っているお兄さんの一樹くん。

わが家のアパート☆

木島 雅晴ちゃん
(H6・5・24日生まれ)

お父さん・省吾さん
お母さん・清子さん

遠藤貴浩さん
(祝沢・19歳)



フツリシユ

秋田ルビコン(株)勤務
血液型・B型

「家から通える職場を選んで秋田ルビコンへ。将来もこの町に残って働きたい」と話す貴浩さんは、同社へ勤務して二年目。小型製造課でコンデンサのリード線加工を担当しています。

「みんなやさしくて仕事場ではとても良い雰囲気。忙しいけど、毎日が楽しい」と満足そう。最初はきつかった三交替勤務にも慣れ、充実した毎日を過ごしています。

今年からは会社の野球部に入部。スポーツ面でも意欲的です。

「休みの日は見ることがない」と家人が話すほどの行動派。地元に多く残っている同級生たちと秋田市や横手市などへのドライブやカラオケボックスへ行くのが楽しみの一つ。高校時代にバンドでボーカルを担当していたこともあり、「歌を歌っている時が最高」と話しています。

★ステキな写真盾が当たる★

広報クイズ

どんどん応募してね

問 11月にオープンを予定している黄桜温泉「湯楽里」。大人一日の入浴料はいくら?

①300円 ②400円 ③500円

(ヒントは先月号にあり)

▼官製はがきに答え、応募者の住所・氏名・年齢・身近な話題など、なんでも結構ですので、書いてお出しください。▼宛先／東由利町老方 東由利町役場広報係宛▼締切／7月15日(当日消印有効)▼正解者の中から抽選で5人の方に写真盾をプレゼント。

▼先月の正解は②「69-2113」でした。応募してくれた5人が全員正解でしたので、写真盾をプレゼントします。△古関幸子さん(松柴) △畠山文三郎さん(江戸川区) △渡辺多代子さん(館合新田) △鈴木和子さん(宿) △小笠原慶蔵さん(横渡)

応募ありがとうございました。

そんな彼が、今一番欲しいものが「熱帯魚」。「熱帯魚はとてもきれいで見てているだけで楽しい。水をきれいにしたり、餌をまめに与えたりと管理は難しい。らしいがたくさん飼つてみたい」と話す貴浩さんでした。

次は、同級生で同じ会社に勤務している佐藤辰夫くんにリレーします。

東由利の文芸

せせらぎ句会(六月句会)

踊る子のゆかたを延ばす参観日

嶽石 レイ(五海保)

佐藤 正義(湯出野)

大庭 喜右衛門(舟木)

小松 徳藏(湯出野)

高橋 ヒデ子(横渡)

阿部 俊子(横渡)

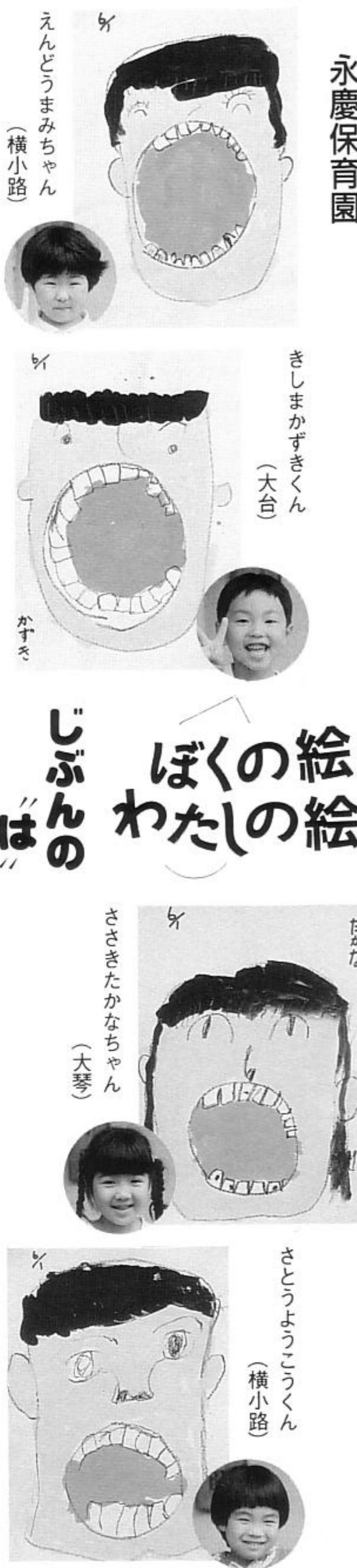
小笠原亮子(藏新田)

緑蔭や千の地蔵の誕掛け
路を煮る炎眺めて旅思案
路の葉を滑り落ちたる雀の子
廃屋に蔓にからまる藤の花
前山の青葉に隠れ薬師堂
朝まだき目も冴えにけり芥子の花
紫陽花に一色そえてかたつむり
漬物で古希をねぎらう夏座敷
薰る風かるくきこなす法衣かな
いつとなくいつしか萌る青田かな

小松順之助(中通)
遠藤トミ子(小倉)
小松 正昭(家ノ下)
嵯峨 義之(中通)
菊地 常作(湯出野)
小笠原トミ(藏新田)
小松 忠正(下通)
小野 貞子(藏新田)
阿部 ナミ(藏)
小松慶治郎(高戸屋)

夏帽に替えてひと日を草ぬけり
父の日や小箱重ねてプレゼント
段畑に一人遊びの梅雨の蝶
河鹿鳴く小川の畔去り難し
夏帽に替えてひと日を草ぬけり

みんな集まれ！タウン



じぶんのは「ぼくの絵わたしの絵」

アレン先生の英会話教室

★★★★★ 国際英会話クラス

Vol. 15 最終回 (アレン先生から)

日本語でメッセージ)



ここに住んで得た最大のものはたくさんの良い人々に会えたことである。明治から平成まで生まれたいろいろな方が私を家に招待し、御馳走してくれた。外人としてでなく、兄弟、息子、孫のように扱ってくれ、私をハイキング、スキーなどに連れて行ってくれた。

そしてここはたいへんきれいなところだと思う。私は仕事で欲求不満がたまたま日や週末には、よくたんぽや古いかやぶき屋根の家なみ周辺を、ジョギングやサイクリング、スキーなどをして、心が和んだのを覚えている。

町の三小学校、中学校、下郷分校の生徒は、これからも勉強、スポーツ、趣味、遊び全部を楽しみながらがんばってほしいと思う。

「Seize the day」「今を生きる」ということです。

最後に、2年間お世話になりました。ありがとうございました。

「Thank you very much.」

いつかミネソタ州で会いましょう。

ハイスクール○日記

3年間の頑張りを

三年前、入学と同時に野球部に入った。この三年間、自分なりに頑張ってきたつもりだが、何よりも残念なのは、今まで夏の大会、全

国高等学校軟式野球選手権大会県予選で一勝に手が届かなかつたことだ。

振り返れば、入学して二か月して僕はこの大会に出場した。とても緊張した。ただ、二、三年生に迷惑をかけないようにと無我夢中だった。けれども結局負けてしまいとても残念だった。二年生の時も、頑張ったが、あと少しというところで負けてし

まつた。そして、三年生が部活動を引退し僕がキャプテンになった。キャプテンになったからには、自分自身、今まで以上に頑張り、そしてチームをまとめ、試合に勝ちたいと思った。

冬の間は体育館で腹筋や腕立てなど、グラウンドでやるよりつらい練習をしてきた。春になってから、一年生が五人入部してきたが、中には上手な人もいてチームのまとまりもできてきた。練習試合もましたが手ごたえのある試合を行えたと思う。僕たち三年生にとっては今度の試合が最後の試合になる。練習の成果を存分に發揮しそひ一勝したい。



下郷分校軟式野球部キャプテン
小野 吉則くん



スズメノカタビラ (イネ科)

文・写真 小松忠正

人の役にたたない草を雑草と呼んだりします。自然界には無名の草はありませんが、至る所にあって、この草ほど嫌われる草はないかも知れません。雪の重さや寒さに耐え、踏まれても蹴られても怯まず、鮮緑色のまま勢いよく増え続けます。葉は線形で高さ四~八センチです。カタビラとは着物のことと、この草の間をスズメが通るとスズメが着物を着たようだというのでこの名があります。「雑草のようになると」という言葉はこの草に例えたのでしょうか。

郷土の野草

No.125

菊地 キヲさん(72・宗久郎・母)新沢
遠藤やす子さん(62・直・妻・上通)
畠山マツヨさん(85・廣・正・母)大吹川

●ごめい福をお祈りいたします

畠山由貴ちゃん(繁子)上通
大塚達貴くん(茂理子)板戸

●お誕生おめでとう

(5/21
6/20届出)

戸籍の窓口



七ツ葉のクローバー

カラフル スマップ

山崎の小松智美ちゃんが七ツ葉のクローバーを発見。四ツ葉のクローバーは“幸せになれる”とか。七ツ葉だと“どうでも幸せになれる”のでしょうか。
写真は、お父さんの忠孝さんが撮影してくれました。

町が企画して今年で五年目を迎える「海外研修」は、今年が「一応の区切り」との事。最後のチャンスかも知れません。教育委員会発行のチラシを見てみると「女性を優先的に選考します」と書いてあります。これまでも何人かの女性の方が研修に行っていますが、帰って来たら聞いてみると「えがつた、えがつた」と口をそろえて言います。何が「えがつた」かはともかく、自己負担十万円でヨーロッパは、とてもおいしい企画。八月三日の締め切りまでじっくり考えてみてはいかがですか。女性だけでなく、男性の方もね。

7月→データ東由利

〈5/1~5/31〉

人口 ()は前月比

■男	2,684人 (5)
■女	2,815人 (△5)
■計	5,499人 (一)
■世帯数	1,411戸 (1)

()は1月からの累計

- 出生…2人(13) •死亡…6人(26)
- 転入…8人(43) •転出…4人(58)

■火災出動	0件(0)
■救急出動	15件(54)
■交通事故	6件(13)
•死亡	1人(1)
•傷者	2人(9)
■飲酒運転	1人(1)
■酒気帯び	0人(0)

カレンダー 7月の行事

11	ことぶき大学
12	普通救命講習会 (9:00、朋楽荘)
16	町消防訓練大会 (町民グラウンド)
21~22	高校生ボランティアスクール
22	東光苑、永慶保育園合同夏祭り (18:00、東光苑前広場)
23	第17回参議院議員通常選挙投票日
26~27	少年自然教室 (八塩いこいの森)
30	本荘市由利郡消防訓練大会 (町民グラウンド)

7月は青少年非行防止月間

広報送付の謝礼として小松弘さん(畠村出身、横浜市在住)から金一封が届けられました。ありがとうございました。

まごころ